

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.169

「契約」は口約束だけでも成立します

「買います(申し込み)」と「売ります(承諾)」の意思が合致することによって、契約は成立します。契約をするかどうか、誰とどんな内容・方式の契約をするかは、自由に決めることができます(契約自由の原則)。また、契約すると、当事者は契約で決めたことを守らなければならないので、原則一方的に契約をやめることはできません。だからこそ、契約する前に、契約の内容や条件をよく検討することが大切です。契約書の内容はもちろん、約款や口頭で受けた説明も重要です。必ず渡された書類に目を通し、理解できるまで事業者に質問しましょう。

■クーリング・オフ制度

特定商取引法では、消費者トラブルが生じやすい特定の7つの販売形態(訪問販売や電話勧誘販売など)を対象に、事業者が守るべきルールとクーリング・オフなどの消費者を守るルールが定められています。クーリング・オフ制度は頭を冷やして、よく考え直す期間を消費者に与え、一定期間内であれば違約金などを支払うことなく、無条件で契約を解除できる消費者保護制度です。ただし、出向いた店で買う商品やインターネットの通信販売は制度の対象外です。



黒田庄町福地地区の藤田英史副区長(右から3人目)と表彰式に出席

若者が誇れる「元気なまち西脇市」を皆さんとともに創ってまいります。

あぐりコラム 7

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



山田錦は市内約400ヘクタールで栽培

田に実る山田錦を見て思いをはせる

本市には黒田庄和牛や山田錦、金ゴマなど、全国に誇れる地域食材があります。その中で、酒造好適米の山田錦は市内約400ヘクタールで栽培されており、全農地の約4割を占めています。私たちが食べるお米「うるち米」の栽培面積は約300ヘクタールですので、お酒になるお米の方が食べるお米より広い地域で栽培されています。

山田錦は背丈が高くなり、粒も大きいため、倒れやすく栽培が難しいと言われていました。しかし、各農家の栽培技術の向上によって、高品質なものが市内各地で生産されています。そのような中で、名古屋市の酒蔵「株式会社萬乗醸造」が黒田庄町門柳に進出することが決まり、現在建設工事が進んでいます。待望の酒蔵の復活であり、西脇の米、水、酒蔵で造り上げる「オール西脇市産の日本酒」が誕生することになります。本市が持つ豊かな自然や大地の恵み、伝統文化の素晴らしさを再認識することにつながるのではないのでしょうか。

田んぼに実る山田錦を眺め、これから醸される日本酒に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



▲両市の中学生親善使節団。レントン市の西脇通りにて

第33回派遣中学生親善使節団
団長 上井 千里 (桜丘小学校教頭) (敬称略)
随員 橋尾 誠 (西脇中学校教諭)
北垣 要衣 (西脇中) 吉田 彩乃 (西脇中) 武部 澄佳 (西脇東中) 村井 亜美 (西脇東中) 梅田 諒 (西脇南中) 清瀬 有可 (西脇南中) 竹内 愛結 (西脇南中) 谷口 乃愛 (西脇南中)

▼問合せ 学校教育課(市役所内線527)
・初めのことばかりで、毎日が発見の連続。とても良い経験がすることができました。また行きたいです。
・ホストファミリーがとても優しくしてくれて、最高の10日間になりました。
・初めてのことも不安でしたが、ホストファミリーのおかげで充実感に変わりました。
・日本語がほぼ通じない所で、自分の「生きる力」が養われたと思いました。
・自信を持てるようになり、アメリカで生活できたことがとてもうれしかったです。
・行く前の緊張感が、温かいホストファミリーのおかげで充実感に変わりました。
・日本語がほぼ通じない所で、自分の「生きる力」が養われたと思いました。

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

姉妹都市・アメリカ レントン市訪問を終えて

令和元年度西脇市中学生親善使節団が帰国

西脇市は、アメリカ合衆国ワシントン州レントン市と姉妹都市提携を結んでいます。毎年、中学生の親善交流を行っており、今年も14人の中学生が、8月18日から28日までレントン市を訪問しました。中学生はさまざまな体験をし、大きく成長して西脇に帰ってきました。

船越 梨緒(西脇南中) 増本 稜大(西脇南中) 好岡 穂高(西脇南中) 依藤孝太郎(西脇南中) 藤本 鈴葉(黒田庄中) 藤原さつき(黒田庄中)
・表情や身ぶり手ぶりなどで、国境を越えてつながることができました。
・自信を持てるようになり、自分の英語力でアメリカで生活できたことがとてもうれしかったです。
・行く前の緊張感が、温かいホストファミリーのおかげで充実感に変わりました。
・日本語がほぼ通じない所で、自分の「生きる力」が養われたと思いました。

心のスケッチ

127

人権教育課コラム

出会い 知ることから始まる

皆さんは「人権」をどのくらい身近なこととして感じていますか。昨年度の人権に関する県民意識調査では、「非常に身近に感じる」と答えた人が約11パーセントで、「かなり身近に感じる」と答えた人が約31パーセントでした。半数以上の人は、さまざまな人権課題が存在することを理解しながらも、身近な問題として認識していないようです。先日、黒田庄地区まちづくり協議会の人権研修会に参加しました。地域の皆さんの前で話されたのは、就労継続支援B型「ドリームボール」を利用する方々でした。就労継続支援B型とは、障害や難病のある方のうち、年齢や体力などの理由から、企業などで雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業などを通して就労訓練を行う事業所のことです。利用者の2人は、かつて重い精神疾患に悩まされ、ひきこもりを経験。大勢の前で話すこと、自身のことをさらけ出すことは難しいことであつたに違いありません。しかし、この機会を自分自身と向き合うきっかけとして、引き受けられました。「二度大きくつまづいた人間の一人だからこそ、足踏みしている誰かに気付ける。今度は自分が助ける番。人と関わっていくべきなんだ」と、経験を交えた生の声に、私はぎゅゅと胸を締め付けられました。参加者からは「黒田庄に住んでいるながらドリームボールの存在を知らなかった」「一生懸命に生きる姿に感動した」「今まで以上に親しみを持って、ドリームボールに関心を寄せていきたい」といった声が寄せられました。日常生活や社会生活に困難さを感じながら生きている人は、想像以上に多く、身近に存在します。そんな人たちを知ること、人権についてより切実に考えることができたように思います。市では約60カ所の人権の町別学習会を実施しています。身近な問題として、人権を感じてもらえる機会になると思います。お住まいの地域の学習会に進んで参加してはいかがでしょうか。(人権教育課)

市長からの手紙

西脇を元気に!!

69



西脇市長 片山 三

地域と一体となって西脇市が国土交通大臣表彰を受賞

地球温暖化のせいか、猛暑日やゲリラ豪雨が続き、各地に大きな爪痕を残しています。黒田庄町福地地区では過去何度も台風に伴う大きな浸水被害が発生していました。

そこで、地元福地地区と市、河川管理者である兵庫県と一体となって対策を行った結果、「西脇市で初めて大雨特別警報」が発令された昨年7月豪雨で、平成16年台風23号時の

約1.6倍、331ミリの総雨量であつたにもかかわらず、福地地区の浸水被害を防ぐことができました。

これは、地元作成の「タイムライン」により、ひ門点検やため池事前放流、ごみ除去など、「事前防災活動」を地元の方々にご尽力いただいた成果です。

このたび、これらの取り組みが評価され、西脇市は国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞しました。この賞は、地域の皆さんが一体となり、自分たちのまちは自分たちで守ろうという気持ちのもと、献身的に浸水対策に取り組んでいただいたことが大きく評価されたものです。地元の方々の地道な防災活動への取り組みと、そのことを評価いただいたことに感謝いたします。

